

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NICO.Preschool		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 22日 ～ 2026年 1月 10		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日 ～ 2026年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み () だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋が広く、自由に安全に遊べる空間であること。	日々に清掃や整頓を行い、安全がないか、場所の確保はできているか、考えて配置している。 窓の開放、掲示物での装飾など、室内がより明るく、広く感じるようにしている。	危険が想定される場所にはコーナークッションの設置、日々の活動の中で気づいたことは都度共有しすぐに対策を行う。安全に繋がる取り組みを行っていく。
2	チーム力が高く、日々の情報共有や活動の計画などがスムーズに行えていること。	毎月の予定決め、各児童のカンファレンスなど、話し合う場を設けている。 設定された場だけでなく、都度日々の支援で見えた課題などを気軽に話せる関係性作り。	日常的な会話から関係作りをさらに強めていく。
3	児童発達支援から放課後等デイサービス（高校3年生）まで利用できることで、長く深い関係性が作れ、継続的な支援ができること。伴い、利用児童は人間関係も異年齢で学べること。	見学の受け入れを積極的に行い、長く使える施設であることを伝える。 長期休みには合同の活動の計画、昼食時は一緒に食事など関わりを持てるように設定している。	

	事業所の弱み () だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師が配置されていない、事業所が2階にあり階段上る必要があること、そのため医療的ケア児や肢体不自由児の利用に制限がされてしまうこと。	構造上エレベーターの設置が難しい。	歩行が不安定な児童に対しては手繋ぎを徹底し、怪我のないように見守りを行っている。 手すりが両側に設置されているため、手で掴むように促している。 見学時には歩行の確認、階段を登ることの了承を行っている。
2	午前に児童発達支援、午後に放デイと常に稼働している状態の為、従業員の過労や話し合いなどの時間の確保が難しいなど、今後不安になることがある。	役割分担による効率的な作業を進める工夫の不足。 休憩時間のローテーションなど管理者が管理することができていない。	必要に応じて事前の役割分担をはっきり行い、準備などを効率的に行い、話し合いや休憩の為の時間を確保する。
3			